

新庁舎整備事業市民説明会 2021
意見交換結果概要（12月21日三和地区開催分）

- 日 時 令和3年12月21日（火）午後7時～8時30分
- 会 場 三和交流センター
- 出席者 11人（参加市民）
- 内 容
- 【質問・意見・提案等】
- ⇒【回答】

□駐車場は何台確保する予定なのか。美濃太田駅南に整備した場合、市役所利用者以外の駐車場利用が懸念される。

⇒およそ110台分の駐車台数を確保する予定である。現在の市庁舎の瞬間利用台数は50台ほどの見込みであるため、十分足りると考えている。110台確保すれば、県内の他市の新庁舎整備の事例と比較しても、人口当たりの駐車台数は多い方となる。

駅の利用者や市街地再開発事業の商業施設を利用される方は、再開発事業で整備する予定の立体駐車場等民間駐車場を利用するように誘導し、市役所駐車場について、特に平日の昼間は市庁舎利用者限定したい。市役所の閉庁時については、市役所駐車場を開放して広く市民の方に使っていただけるように考えていく。

□商業ビルの維持管理費が不要なので、4候補地の中では美濃太田駅周辺のランニングコストが最も低いことは理解したが、それは市商業ビル（シティホテル美濃加茂）を無くすということになる。市商業ビルの機能は完全に不要ないということか。それとも、一部の機能を新庁舎に残し、維持管理費を削減してコストを抑えていくという考えなのか。

⇒現在の市商業ビル（シティホテル美濃加茂）がもつコンベンション機能と商業機能は残して、ホテルの機能をなくす方向で考えている。市有地が活用できる点と商業ビルの維持管理費が不要になる点から、駅周辺のコストが最も低いと見込んでいる。

□駅前に市庁舎が移転するということは特異な例だと思う。全国的にもないのではないか。

⇒最近では、滋賀県米原市が同じように駅前に庁舎を移転した。再開発的に駅前を整備しながら新庁舎を建てた。コンベンション的な機能も整えていて、そこを1つの中心市街地活性化の策とするような考え方で取り組まれている。

- 美濃太田駅周辺での整備費が、他の候補地での整備費と比較してどれだけ低いかわかりやすく教えてほしい。
- ⇒最も費用が高い前平周辺候補地と比較して、ライフサイクルコストで考えた場合、約 36 億 4800 万円の差があり、イニシャルコストで考えた場合では約 16 億 3200 万円の差がある。
- およそ 36 億円あれば、他の公共事業で何ができるのかというアピールや、駅周辺に整備することは電車、あい愛バスを活用するなどアクセスが良いということをもっとアピールすべきだと思う。これら以外に駅周辺に整備することのメリットはどんなことがあると考えているのか。
- ⇒一番のメリットはにぎわいの創出が可能ではないかと考えている。市庁舎が駅周辺に整備されることで、中心市街地活性化の発展に寄与できるのではないかと考えている。